

令和4年度定時総会と秋の収穫祭に向けての準備

隊友会東播支部 事務局

東播支部（支部長 石田真一 他 24名）は、令和4年5月21日（日）青野原駐屯地広報館のミーテングルームにおいて、令和4年度隊友会東播支部定時総会を開催しました。

支部長は定時総会の中で、会員の皆様へのお礼として、前年度のコロナ渦のために諸活動の制約を受ける中で、我が東播支部は十分なコロナ対策を行い、ほぼ全ての行事を推進することができたことに対する謝意を述べられた後、「本年度も県内で2千人弱のコロナ患者が発生している中で、昨年度同様にコロナ対策を十分に行い、支部活動を盛り上げていきたい。特に隊員・家族との交流事業、公益法人として地域の活性化につながる事業の支援を積極的に推進して隊友会東播支部の知名度を高めることで会員数の増加を図っていききたい。」との挨拶を行いました。

また総会前には、昨年度支部活動に貢献して頂いた役員（小西池 守 理事）及び会員（奥井 彰二 会員）に対する支部長からの感謝状の贈呈を行いました。

総会終了後は、滝野体育センター前の休耕田に場所を移動し、サツマイモの植え付け、イノシシ対策の防護柵設置など、役員及び会員（全22名）で約3時間の作業に汗を流しました。なお、植え付け場所は、石田支部長と鈴木理事役による事前作業で、マルチ掛けまで終了していました。植え付け作業には程よい曇天となるほか、お昼休憩には、おにぎり2個とお茶を各人へ提供し、終始和やかに作業が進みました。

昨年秋の収穫祭では105名の参加者を得ましたが、今年はそれ以上の参加者を期待し、沢山収穫できるよう気持ちを込めて植え付けしました。今から秋の収穫祭が楽しみです。



小西池 守 理事役 感謝状贈呈



奥井 彰二 会員 感謝状贈呈



サツマイモ植え付け前の風景



サツマイモ植え付け完了の風景